

みよしんと地域社会 ～創ります“夢あるあした”～

当金庫の地域活性化への取組みについて

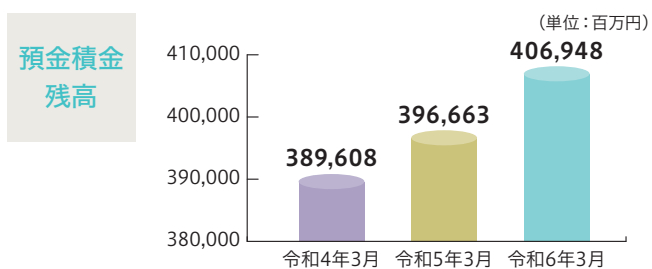
当金庫は、岳南地域（富士宮市・富士市）を主な営業区域とし、地元の中小企業者や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

昭和8年創業以来地域金融機関として、信用金庫の経営理念を忠実に守り、地元のお客さまからお預かりした大切な預金（預金積金）は、地元で資金を必要とするお客さまに融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでいます。

お客さまの預金について

預金積金残高 **4,069億48百万円**

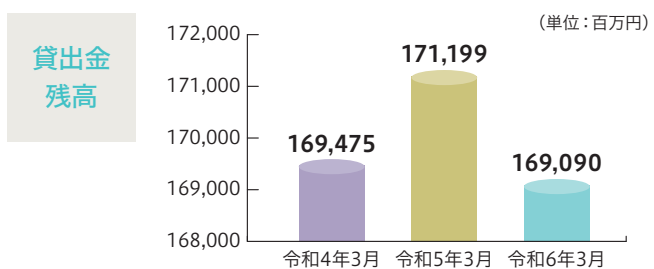
地域の「信頼の証」である預金の増加に取組み、創立以来初の4,000億円を達成しました。



地域のお客さまへのご融資について

貸出金残高 **1,690億90百万円**

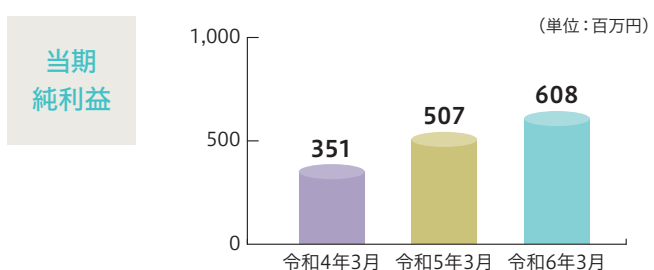
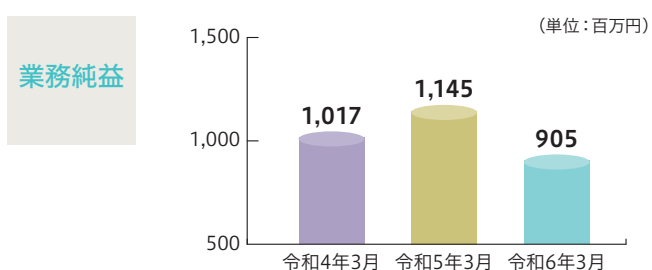
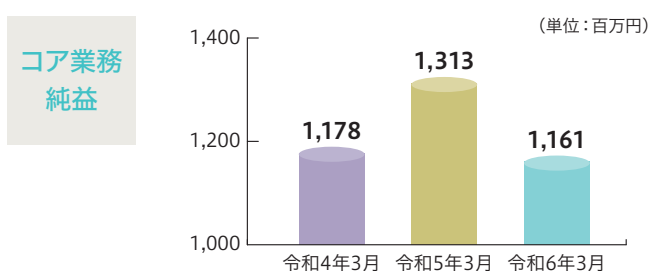
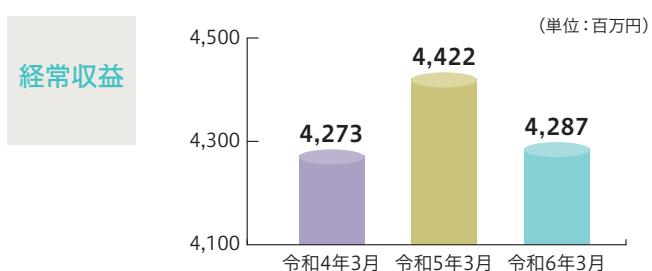
継続的な伴走支援と、円滑な資金供給に努めました。預金積金に占める貸出金の割合は41.55%です。



令和5年度の決算について

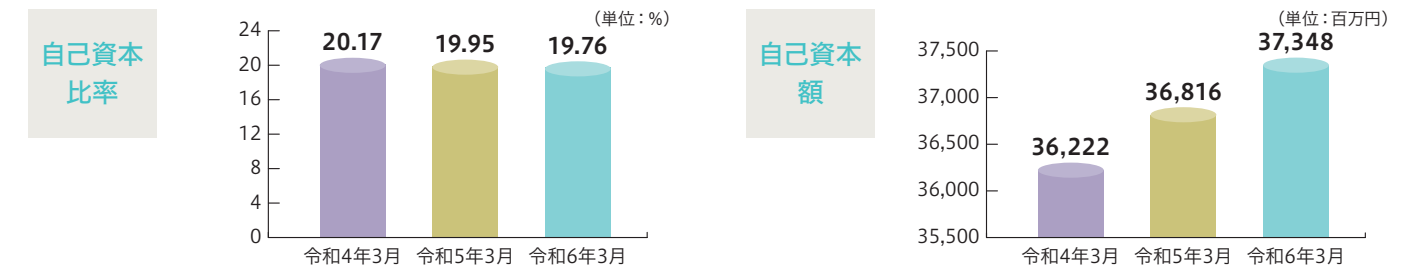
当期の経常収益は、その他の業務収益が前期比22百万円増加したものの、資金運用収益が1億29百万円減少し、42億87百万円となりました。一方、経常費用は、その他経常費用が2億9百万円減少したものの、その他の業務費用が2億28百万円増加し、34億63百万円となりました。この結果、経常利益は前期比1億81百万円減少し8億24百万円、当期純利益は前期比100百万円増加し6億8百万円となりました。

当金庫は地域経済を活性化させ地域社会を持続可能なものとしていくために取引先企業の資金繰り支援に重点を置くとともに、事業回復のための経営改善、事業承継支援への取組みを一段と強化することでその役割を果たしてまいります。



自己資本の推移について

「自己資本比率」は、金融機関の健全性を示す重要な指標です。令和6年3月末の「みよしん」の自己資本比率は19.76%と国内業務を行う金融機関に課せられた基準である4%を大幅に超えており、財務の健全性・安全性は引き続き高い水準を維持しています。「みよしん」の自己資本比率が充実しているのは、業容を拡大していく過程で利益を将来のために、地道に積み上げた結果によるものです。



ご融資以外の運用について

有価証券残高

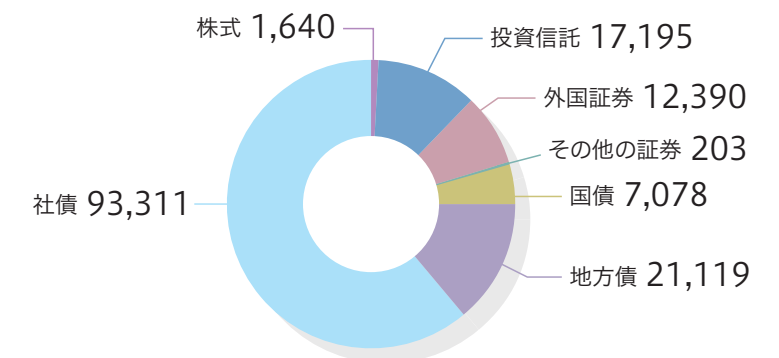
1,529億39百万円

預金積金に占める有価証券の割合

37.58%

当金庫はお客さまの預金を、ご融資による運用の他に有価証券による運用も行っています。なお、有価証券の運用については、安全性第一を心掛けています。

有価証券残高構成



主要な経営指標の推移 (直近5事業年度)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収益	4,057	4,618	4,273	4,422	4,287
経常利益	778	877	474	1,005	824
当期純利益	597	543	351	507	608
出資総額	679	686	694	692	684
出資総口数	13,595	13,725	13,899	13,848	13,698
純資産額	35,126	36,039	34,806	31,442	32,301
総資産額	384,870	414,060	426,992	430,576	441,618
預金積金残高	346,561	375,065	389,608	396,663	406,948
貸出金残高	138,746	158,887	169,475	171,199	169,090
有価証券残高	142,398	142,173	154,444	149,323	152,939
単体自己資本比率	22.34	21.59	20.17	19.95	19.76
出資に対する配当金 (千円)	13,427	13,614	13,733	13,751	13,681
(出資1口あたり) (円)	1	1	1	1	1
役員数	13	13	12	12	12
(うち常勤役員数)	8	8	7	7	7
職員数	249	251	254	253	246
会員数	18,370	18,741	19,155	19,301	19,047